

令和3年度 桜山小学校 学校評価 全体考察まとめ

令和4年3月発行

桜山小学校保護者の皆様、関係者の皆様へ

大変ご多用な中、保護者の皆様方には、本校の教育活動に関する評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。保護者、児童、職員のアンケート結果を分析し、成果と課題、今後の取組を考えております。

また、全体考察のあとに、それぞれの結果をつけております。ぜひご一読いただき、今後とも本校の教育活動推進のため、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【 児童のアンケートからの成果○と課題● 】

○児童の意識変容では、5ポイントアップした項目が10項目あった。その中で、「授業中進んで手を挙げている」や「難しい問題が出たときも、あきらめずに解こうとしている」等学習面の評価項目で、10ポイント以上が高まっている。

●「自分には良いところがある（自尊感情）は、高いと思う」や「テレビやゲーム、スマホ等を使う時間を長くならないようにコントロールしている」の項目で、それぞれ4ポイント下がっている。

【 保護者のアンケートからの成果○と課題● 】

○保護者の意識変容では、5ポイントアップした項目が4項目あった。その中で、「自分の立場が悪くなるときでも真実を正直に話してくれる」や「学校に行くのを楽しみにしている」、「人権教育」等が高まっている。

○児童と同様、学習面での評価項目で上昇が見られ、家庭学習面の評価も4ポイントあがった。

○コミュニティ・スクールの取組について、92%と理解が高い状態が続いている。

○学校の環境（花や緑）については、今年度も高い評価となった。

●メディア・コントロールや地域の行事への参加についての項目で数値が下がった。新型コロナウイルス感染症による行事の中止の影響も考えられる。

今後の取組

- 1 コミュニティ・スクールでの取組により地域貢献意欲が高い状態が続いています。これまでの取組の質の向上を図りながら、さらに自尊感情の向上へとつなげていきます。コロナ禍における「できる取組」を積極的に行っていきます。
- 2 今年度、タブレットPCを活用した学習が推進されました。来年度もメディア・コントロール力の向上を学年に応じて計画的に実施していきます。また、PTAとも連携を図っていきます。いじめや差別に関連する学習（道徳、学級活動等）の取組も引き続き、重点事項として取り組んでいきます。
- 3 一人一人を大切に、定期的な教育相談、専門家、外部機関との連携をより強化していきます。スクールカウンセラーを効果的に活用します。
- 4 「誰一人取り残さない熊本の学びアクションプロジェクト」に沿って授業改善を進めていきます。全員活躍型授業（あらおベーシック）、ICT（電子黒板、タブレットPC、デジタル教科書等）を効果的に活用した授業を行っていきます。
- 5 本年度もたくさんの学校支援ボランティアの皆様をサポートをしていただくことができました。そのため、たいへん充実した学習活動を行うことができている。今後も、感謝の気持ちを忘れずに教育活動の充実を図ってまいります。